

10月1日に
販売開始します！

中林 浩 著

普通の景観・考

～サステナブルな町の姿～

どこにでもありそうな景観だけでも、こよなく愛おしく感じることは体験上よくある。高度経済成長期が始まるころまで、各地の都市に見られた一般的な景観、いわば「普通の景観」が、どんどんなくなってきた。本書で扱うのは、そうしたおおむね高度経済成長期までに既成市街地に見られた景観だ。普通のものが貴重だという謎に挑みたい。(本文より)

<もくじ>

はじめに 普通と希少のパラドックス

I 普通の景観とは何か、京都で考える

京都の壬生が景観地区になる

京都は普通の町の集積地だ

II 都市再生のなかで希求されたもの

「新興」工業都市バーミンガム

ロンドン・クラークンウェル

III 古い建物が大切である本当の意味

尾道は映画の聖地だ、珠玉の近江八幡

IV 商売の名残を活かす町

町並み保存運動の始まり、神戸・乙仲通のきらめき

V ヨーロッパ都市の成熟

麻痺した首都だったダブリン、古き良きパリ・マレ

VI 大阪と東京のDEEP

大阪ミナミの中層市街地、中崎町のりっぱな表長屋、

下町の原点、日本橋、人気上昇中の北千住

VII ヒューマンな生活空間を取り戻す

高架道路の撤去、アメリカ大都市の都心、

ヤンバンの住んだ北村、韓国の町並み保存

ジョグジャカルタの環境改善

VIII 「普通」は時代のキーワード

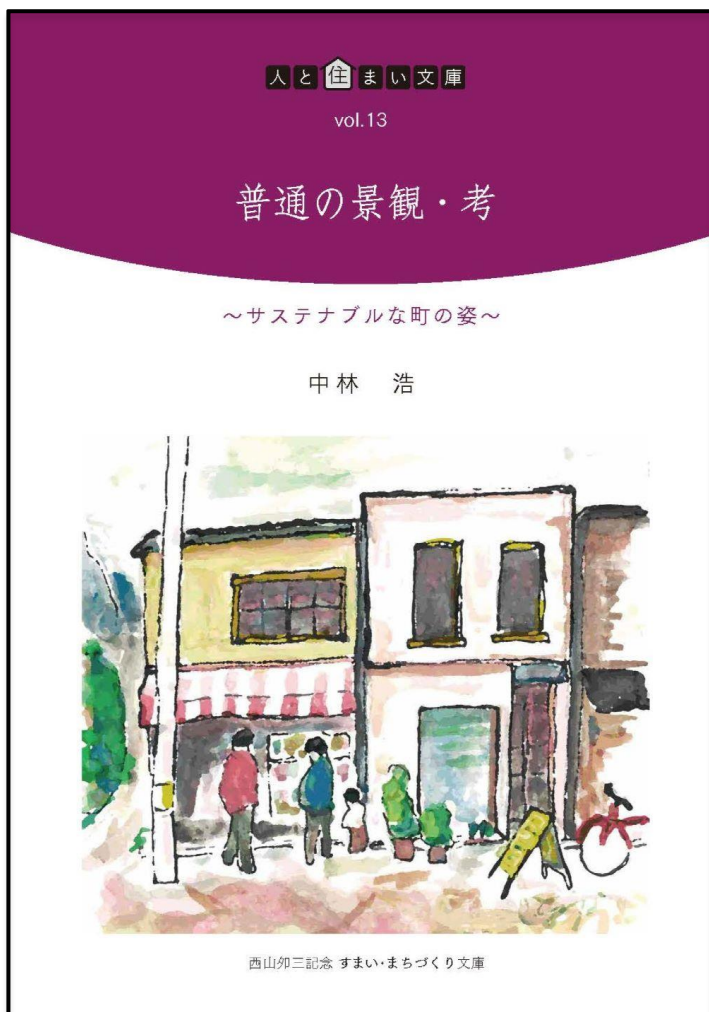
春の小川のイメージ、ふつうのおんなの子、

ふたたびバーミンガム

あとがき

購入ご希望の皆様

当シリーズは「地方・小出版流通センター」に販売業務を委託しています。できましたら、このチラシの情報により最寄の書店でご注文ください。その際、書名・文庫名とともに「地方・小出版流通センター扱いです」と書店員の方に教えてください。各ネット書店でも扱っている場合があります。お急ぎの方は、地方・小出版流通センターHP「ご注文方法」や、従来通り当文庫HP「出版物頒布」に沿って、どちらからもご注文もいただけます。



ISBN 978-4-909395-12-2 C0052 ¥1000E
定価 1,100 円 (本体 1,000 円 + 税 10%)
地方・小出版流通センター取扱品